

MAKOステンレス・チタン製品のメンテナンス



警告

高所作業を行う場合は、万全の作業の準備を行い、足場の確保や安全帯を着用し落下しないように注意してください。



注意

薬品を使い作業を行う場合は、万全の作業の準備を行い、身体に悪影響を及ぼさないように注意してください。目に薬品が入った場合や身体に薬品が付着した場合は、速やかに水で洗い流してください。

ステンレス鋼は、さびにくい金属ですが絶対に錆びないことはありません。チタンは環境によって変色します。ステンレス製品の耐久性を保持し、錆を抑制するためには、錆を誘発する原因となる汚れを取り除かなくてはなりません。特に海塩粒子や煤塵、鉄粉が付着した場合、すみやかに清掃する必要があります。台風の時には、かなり内陸部まで海塩粒子が飛来することがあるので、台風後は、できるだけ早い時期に洗浄することが望まれます。また、チタンは発錆はありませんが、コンクリートのアルカリ等で変色する事があります。そこで定期的に清掃を実施して、常に製品の表面を清浄にしておくことは、ステンレス・チタンの耐久性を高め、美観維持の為に大変重要です。

お手入れ方法

- ①表面に付いたホコリや鉄粉等は、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
 - ②指紋や油污れ、海塩粒子等は、水あるいはお湯で薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けて軽く拭き取り、その後水拭きし、乾いた布で軽く拭き取ってください。
 - ③布、スポンジ等による清掃は、必ず“研磨目”に沿って、しかもできるだけ平均に力を入れて手を動かすようにしてください。
 - ④付着した油分を除去する為、シンナー等の有機溶剤を使用すると、油分を単に薄く伸ばすだけの結果に終わり、かえって色調を乱す事があるので避けてください。
 - ⑤中性洗剤で落ちない指紋や油污れ等は、200メッシュ以下の炭酸カルシウムパウダーを柔らかい布に付けて軽くこすると落ちる場合が多いですが、こすり過ぎると変色することがありますので注意してください。その後、十分に水洗いしてください。
- ※ステンレスは、塩素系洗浄剤は使用しないでください。チタンは、フッ酸、フッ化物の入った洗浄剤を使用しないでください。

清掃方法

1. 普通の汚れ及び手あかが付着した場合

水あるいはお湯で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取り、その後よく水拭きをしてから、最後に乾いた布で水気を拭き取ります。

2. 落ちにくい汚れや油性の汚れの場合

アセトン、アルコール等で拭き取り、最後にきれいな水でよく洗い流してから、乾いた布で水気を拭き取ります。

3. 酸が付着した場合

直ちに水洗いをしてください。その後、乾いた布で水気を拭き取ります。

4. 鉄粉や潮風のため、点状の錆がみられる場合

布、スポンジに中性洗剤を付けて拭き取ってください。きれいに除去できない場合は、炭酸カルシウム(200メッシュ以下)やみがき粉(300メッシュ)等でこすり取ってみてください。ステンレスには市販の専用清掃薬液も効果がありますが、フッ酸やフッ化物が入った物はチタンを変色させますので使用しないでください。その後、必ず十分に水洗いして、薬液が残らないようにしてください。更に乾いた布で水気を拭き取ります。除去できない場合は、無理をせず専門的な処置を依頼してください。特に鏡面系のステンレス・チタンの場合は、不適切な処置をすると変色やキズが発生しやすいので注意が必要です。

お手入れ上の注意事項

1. ステンレス・チタン建材の汚れと錆の原因や状態により、それぞれの状況に応じた清掃が必要です。あらかじめ部分的に“ためしぶき”して、汚れや錆の落ち具合をみてください。テストの結果、満足な結果が得られたら、その方法で清掃を行ってください。
2. 布、スポンジ、目の細かいナイロンパッド等の清掃用具を用いる場合は、必ず“研磨目”に沿って拭いてください。研磨目を無視するやり方をすると汚れが落ちにくく、また表面の光沢のラインをくずしたり、色むらができたりして表面が見苦しくなります。
3. かなりひどい汚れの場合でも、目のあらいクレンザーやサンドペーパーなどを使用するのは避けてください。ステンレス・チタンの表面を傷つけ、光沢のラインがくずれるばかりでなく、鉄粉が付着しやすくなり、錆の原因となることがあります。
4. 市販の清掃薬液を使用して汚れを除去する場合は、汚れた部分だけでなく、その周辺部も手入れをしてください。部分的な清掃ですと色むらが残り、見苦しくなります。市販のステンレス用清掃薬剤は、中性で研磨剤なしのタイプの使用が安全です。チタンの場合はフッ酸、フッ化物の入っていない物を使用してください。
5. 酸性薬剤(塩酸、硫酸、硝酸または、これらを含むタイル・石材等の清掃薬剤)は変色を起こす恐れがありますので、絶対に使用しないでください。
6. ビルのタイルや石材、アルミ等の清掃の際、清掃薬液がステンレス・チタン面に飛散した場合は、必ず水洗いしてから、乾いた布で水気を拭き取ってください。そのまま放置しておくと錆の原因となります。
7. 硬い清掃用具(ブラシ、たわし、金属製ウール)、みがき粉や研磨剤の入ったもの、サンドペーパー等の使用は避けてください。

※上記に記載されている方法は軽度の汚れに対しての一般的なメンテナンス方法です。仕上げや状況によって対応の方法が変わりますので、ひどい汚れや錆についてはご相談ください。

MAKO
JAPAN

製造元：東洋ステンレス研磨工業株式会社
〒818-0131 福岡県太宰府市水城6丁目31-1
TEL：092-928-3733(代) FAX：092-928-5430(代)
e-mail：info@toyo-kenma.co.jp